



東北大学

2014年11月19日

流体科学研究所 丸田 薫 教授が 露プーチン大統領に国際共同研究拠点の活動を紹介
— 日露国際共同研究による極東連邦大学「燃焼・エネルギー研究ラボ」 —

2014年11月12日、ロシア極東ウラジオストク市の極東連邦大学内に創設間もない国際共同研究拠点 ICE Lab (International Combustion and Energy Laboratory) をプーチン・ロシア大統領が訪問しました。

同拠点では、本学流体科学研究所の丸田薫教授が、ロシア政府メガグラント・プロジェクトのサポートの下、同大学の Minaev 教授と連携して研究を行っています。

丸田教授は、拠点の研究活動である新コンセプト燃焼技術を大統領に紹介しました。その様子は、オンラインゼミを実施中の流体科学研究所・エネルギー動態研究分野の学生に中継されました。途中、紹介に応じて大統領が日本側学生に笑顔で手を振り、学生全員が手を振り返すなど、終始和やかな雰囲気の中で行われました。



*メガグラント・プロジェクト： 2011年に開始されたロシア政府プロジェクトで、世界各国の人材をリーダーとする大型研究拠点をロシア国内に形成する目的で年間百万ドル規模（約1億円／年、3～5年）を交付する事業。これまでに日本人は5名、そのうち3名が東北大学（2013年の川添 良幸 名誉教授・大谷 栄治 教授、および2014年の本件）から選出されている。

（問い合わせ先） 東北大学 流体科学研究所

担当：丸田 薫 教授（附属未到エネルギー研究センター：エネルギー動態研究分野）

電話番号：022-217-5319